

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社シーズコミュニケーションズ			
所在地	東京都豊島区南池袋二丁目47番2号			
業種	情報通信業			
常用労働者数	18人			
事業内容	インターネットにおけるサイト並びにホームページのデザイン、企画、制作、その他			
ホームページ	https://seez.jp/			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年9月27日			
②方法	調査票を都内に勤務する全従業員に配布（手渡し、メール送付）			
③回収率	対象者（都内全従業員）17名のうち回収数16名 回収率 94.1%（回収数/対象者）			
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について アンケート調査により介護を経験した従業員は全体の6%（1名）で、現在も介護を行っている者は0名であった。 ・今後の従業員の介護見込みについて 「介護をする可能性が少しある」は69%で、担い手が「あなた（自身）」と回答したのは18%（2名）であった。また、「介護をすることはない」は31%であった。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する社内制度の認知状況については、「制度があるかどうか知らない」が81%と、大半が認知できていない状況である。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 介護の可能性がある従業員で今後の介護することに対して不安を感じている者は54%、「分からない」が45%であった。 また、介護をしながら現在の職場で働き続けられることができるかに対して、「続けられる」9%、「続けられない」18%、「分からない」73%であった。 ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 望ましい働き方として、「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、介護と仕事を両立する。」という回答が75%、次に「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」が13%という回答であったが、一方「仕事の仕方を変えない」も13%という回答を得た。 			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年10月3日			
②メンバー	総計2名（うち都内勤務の従業員1名） （メンバー内訳）役員、従業員			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	10月3日	11:00~11:30	活動内容及びスケジュールの確認	2名
	10月3日	11:30~12:00	調査結果概要説明、目標案の掲示	2名
	10月3日	13:00~13:30	目標について意見交換、目標確定	2名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年10月～	定期的な個人面談等を通じて介護休業制度の利用希望状況を把握する			
令和4年11月～	公的介護保険制度も含めた介護支援制度・休業制度に関する研修を実施する			